

白子高校 PTA通信

No.99 2024. 2 発行 三重県立白子高等学校PTA

ご挨拶

PTA会長 中島 知子



こんにちは、PTA会長をさせていただいております中島でございます。

日頃よりPTA活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

まず初めに、1月1日に発生した能登半島地方の地震で亡くなられた方にお悔やみ申し上げます。

令和5年度は、新型コロナウイルスの制限が解除され、社会全体が少しずつ活気を取り戻しつつある中で、年明け元旦に発生した能登半島地震、2日に発生した羽田空港での日本航空機と海上保安庁機の衝突事故と、痛ましい新年の滑り出しとなりました。

PTA活動も少しずつコロナ禍前に戻りつつあり、様々な研修会が対面で開催されましたので参加させていただきました。その中でも、第72回全国高等学校PTA連合会宮城大会が「豊かな杜につむぐ虹の光」～しなやかな強さで生き抜く力～をテーマに2023年8月24・25日に開催され、現地に於て参加させていただきました。

日程1日目の午前中は教育視察(震災遺構コース)松島震災復興語り部クルーズで松島湾をクルーズ船で回りながら東日本大震災で被災された方のお話を伺いました。震災から12年の年月が経っていますが、復興を遂げても震災当時のお話を涙ながらに話され、改めて地震

津波の恐ろしさ・防災に関する知識、備蓄の必要性を感じました。

その他、宮城県高等学校合同合唱団の合唱映像の視聴やパネルディスカッションへの参加、「白A」によるプロジェクションマッピング、仙台育英学園高等学校硬式野球部監督 須江航さんによる伝わる言葉～失敗から学ぶ～と題して記念講演の参加をさせていただき、どれも貴重な経験となりました。

特に地震については三重県も対岸の火事ではなく、東海、東南海地震の発生のリスクは日々増していることから、この経験を生かして防災意識を高める事を身近なところから広めていきたいと考えています。

また、最後となりますが、9月にありましたPTA研修会、10月に開催されました文化祭は3年ぶりに対面・保護者への公開がなされました。感染対策をしながらも久々の文化祭は活況で、子供たちののびのびとした姿を見ることができたことは何よりうれしく感じました。

今年度、PTA会長を務めさせていただいた事で、先生方や保護者の皆様との交流を深める事ができ、貴重な経験をさせていただいたと思っています。今後の白子高校のPTA活動をより良いものにしていくためにも、皆様方のより一層のご理解とお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

一年間ありがとうございました。

「人生を変える読書」が目指すもの

校長 山口 雅弘



会員の皆様には、平素より本校のPTA活動及び教育活動に格別のご理解とご協力を賜りまして、誠に有難うございます。新型コロナウイルス感染症が今年度の5月8日より第5類相当との判断に移行して、

学校もコロナ禍前の活気が戻りつつあります。

そんな中、本校においてもPTA役員の皆さんのご尽力で、自衛隊の方から災害時における対処等の研修会や文化祭での献血バス、校長室での喫茶を実施することができました。文化祭では、数年ぶりに保護者の方をお迎えすることができ、生徒の様子をご覧いただくことができました。今後とも引き続き会員様や本校生徒のためになるPTA活動にご協力いただければと思います。

さて、本校では「朝読」の時間をとって、読解力や知識が身につくといった学習面だけではなく、論理的な思考力や集中力など、子どもがこれから生きていくために必要な力も身につけられる効果を期待しています。最近、多摩大学大学院経営情報学研究科 堀内勉教授の『人生を変える読書 人類三千年の叢智を力に変える』という記事を目にする機会がありました。

著者である堀内教授が当惑する「ある質問」が、「どんな本を読めばよいですか？」とのことでした。実際に直面する課題に対して知識等を考慮するアドバイスはできても、一般的な質問として、「どんなものを読めばよいですか？」と聞かれてしまうと、簡潔に答えるのは難しくなるとのことでした。

なぜなら、その方がどのような人で、これまでどのような人生を歩んでこられたのか、その中でどのような考えや価値観を身につけて、いまはどのような気持ちで生きていて、何を求めているのかをまったく存じ上げないからです。非常に突き放した言い方をしまえば、「本当にそれが聞きたいのであれば、自分自身の胸に手を当てて聞いてみてください」としか答えられないのです。もちろん、それでは何も答えたことにはなりませんが……。

著者は、この質問が多い理由を考えるにあたり、その結果から考えると、こうした問いの多さとなる理由は、現在の時代が抱えている深刻な問題を映し出しているの

ではないかと考えてらっしゃるようでした。確かに、この未曾有のコロナ禍の中、明確な目的よりも、先行きに不安を感じるがありました。

そういった深刻な課題があるとはいえ、筆者が本書を通して示したかったことは、「本を読まない人生というのはあまりにももったいない」ということです。それは、「勉強」とは違う次元で、本を読むことの有益性として、今までの歴史の中でも多くの書物が残されており、それらの内容は生き方が参考になる素晴らしい人生の先達がたくさんいるからなのでしょう。それでも、問題となるのは、あまりにも多くの本が世の中に出回っており、それらが多すぎることで読むべき本がわからないということなのでしょう。

「すべての人間は、生まれつき、知ることを欲する」と言ったのは、古代ギリシアの哲学者で「万学の祖」と呼ばれるアリストテレスです。

この知的好奇心が人類を地球の生態系の頂点に押し上げたのだと思います。そして、その理由のいかにかわらず、人間には元来、知的好奇心が備わっているというのは間違いなさそうです。

最後に読書術的なことをひとつだけ言えば、「好きな本を手取る」ところから始めてみてくださいということです。

アリストテレスが言うように、人間として生まれてきた私たちには、生来、知的好奇心が備わっています。残念ながら、その好奇心の芽を社会や学校や親が、つまらない「勉強」の押し付けによって摘み取ってきた面があるのです。

「好きこそ物の上手なれ」と言いますが、他人の尺度で本を選ぶのではなく、まず原点に立ち返って、自らの好奇心の導きに従って読書を始めてみてくださいというのが、『人生を変える読書』を通じて一貫して私が訴えていることなのです。

好きなことを知ること、それは自分を知ることには違いありません。自分を知り、長所を伸ばしていくことで新しい自分を創り上げていくのでしょう。保護者の皆様とともに、生徒たちの成長を見守り、支えていくことができることを心から願っています。

今後とも、保護者の皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

文化祭

PTA副会長 水谷 厚子

今年の文化祭は、2日目は保護者参加可能になるなど、制限が少なくなつての開催となりました。

私たちPTA役員は、1日目は、登校指導の後ステージ企画を拝見させていただきました。登校指導は、さすが白子高校の生徒たち。元気よく挨拶をしてくれて、こちらが見習わなければと思うほどでした。ステージ企画は圧巻！吹奏楽部の演奏から始まり、歌やダンス、お芝居にファッションショーなど盛りだくさんで終始釘付けでした。

2日目は、去年も実施した献血車を招いての献血、そして今年復活！なかなか入ることのない校長室をカフェにした『喫茶校長室』を企画させていただきました。献血は、年齢制限や体重制限があり、できる学年が限られましたが、献血できなかった生徒のみなさんにも、少しでも身近に感じていただけたらと思います。ご協力ありがとうございます。

ございました。喫茶校長室は好評で、準備したお菓子とジュースは全てみなさんの手元に！！カフェでくつろいで食べてくれる生徒や校長室をまじまじと見て回る生徒など、校長室の雰囲気を味わっていただけたと思います。

2日間参加させていただきありがとうございました。来年の文化祭も今から楽しみです。



PTA研修会

PTA書記 脇田 亜希

一昨年、昨年度と新型コロナウイルス感染症の影響により、YouTube配信でのオンライン研修でしたが、今年度は集合型研修を行うことが出来ました。

防災をテーマに、自衛隊三重地方協力本部 四日市地域事務所所長 中島健二様をお招きし、防災以外にも自衛隊の活動についての貴重な講話をしていただきました。自衛隊員の方にもご協力いただき、簡易担架を作成する実習も行いました。担架は毛布と竹(物干し竿)を使います。実際に男性に乗っていただき、持ち上げましたが、とてもしっかりとっていて驚きました。簡易ですが、

安全に移動することが出来ます。他にも止血法など、いざという時に役立つ知識を教えてくださいました。

新年早々に能登半島を襲った大きな地震。被災され亡くなられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに被災された方々にお見舞い申し上げます。諸説ありますが、この地域でもこの先30年以内に80%の確率で、大地震が起こるのではと予想されています。他人事ではない災害に備えて、研修で教えていただいたこと活かさればと思います。とても有意義な研修会でした。

「みえ子どもの未来を語る会」に参加して

PTA会計 佐々木 茂

R5年7月8日に開催された、第21回みえ子どもの未来を語る会に参加しました。そこでは、今子どもたちとできることを考えながら、山崎清治先生による「思いやりのココロの育て方～無人島で1万人以上の子どもたちと接して～」を聞き、その後分散会にて意見交換を行いました。

その中で、平成から令和へと時代も変わり、価値観なども変わっていますが、生きる上で変わらない物があることに気付かされました。

例えば、昭和の時代では子どもは風の子と言われ、外で遊ぶのが当たり前で、遊び道具も手作りしていました。しかし、今では子どもの声がうるさいからと公園で遊ばず、

子どもの育つ場が学校中心となり、家庭で出来る事も学校任せになり、先生方の仕事が増えてしまい、それが負担となり、教育の改革が言われるようになったそうです。

最後に、教育は教え育てるも大切ですが、共に共感し、育ち合うことが大切であると思いました。

3年生の進路の状況と今後の取り組み

進路指導部 久保田 智

今年度も就職および進学における結果が多く届いております。そのことを基に、12月20日現在での3年生の進路状況とその傾向についてご報告をさせていただきます。

【就職】

12月15日に文部科学省より、来春卒業予定の高校生で、10月末時点の就職内定率が77.2%との発表がありました。これは昨年同時期より1.1ポイントの増加とすることで、コロナ禍の収束に伴い幅広い業種で採用意欲が高まったことによると分析しています。そこで、本校の就職内定の内訳は、学校斡旋47名、自己開拓2名、公務員・自衛隊など5名となっています。文部科学省の分析にもありましたが、製造にかかわる企業をはじめ、全体的に求人数が多くなっていると同時に、本校への指定も多くいただきました。この傾向が次年度も継続されることを期待しております。

続いて、企業より採用結果を聞くと、可否は主に記述、面接、調査書などを基にした総合的な判断であるものの、面接での対応が大きなポイントを占めていると感じます。企業は仕事への情熱、企業の理解度など、自らの言葉の表現、態度を評価したいと言われます。一方、仕事の適性ですが、特異性のものは別として、男女の限定を問わない企業もみられます。ただし、企業側は社員の安全等や作業内容を踏まえての判断と思われます。学校側としては、生徒の希望も大切にしつつ、不利につながらない対応をしていきたいと考えています。

【進学】

幅広い分野への進学結果(延べ人数)は以下のとおりとなっております。

四年制大学;53 短期大学;20

専門学校;59 看護系;12

また、受験方法による分類では次のようになっています。

総合型選抜(AO入試);73 指定校推薦;50

公募制推薦;21

入試方法も多岐にわたっており、オンライン導入による出願も年々増えてきました。更に、早期からの入試説明会の開催、それより進めて合格する生徒も増えています。生徒にとっては早い時期に合格し、落ち着きたいと思うところでしょうが、合格後から入学までの期間が長いとモチベーションの維持、進学への不安など考えることが増えることが起こっているようです。入学に向けて課題を課す学校もあります。進路指導としては自分でできる準備、復習を自発的にすることを推奨していきます。

【目標に向けて】

新年を迎えて1月13日(土)、14日(日)の両日に大学入学共通テストが実施され、本校からも数名が出願をしました。この試験をはじめ、本格的な一般入試を主とする受験シーズンが幕開けとなります。引き続き目標に向けて取り組む生徒も見られます。周囲が進路決定していく中での準備となるので、メンタル面でもかなりしんどい部分もあると思われます。このことを乗り越えられるよう最後まで学校ではサポートしていきます。ご家族等の身近で対応される方々の支えも引き続きお願いいたします。

カウントダウン

3学年主任 瀬古 広毅

3学年HRが並ぶ2階廊下の真ん中に、「卒業まであと〇日」という日めくりカレンダーを設置したのが5月19日

ですが、その時点で「卒業まであと287日」でした。この原稿を書いているのが12月上旬ですが、もう90日を切

っています。登校する日だけを考えると3学期は20日ほどしかありません。

高校3年間の集大成である進路実現に向けて、就職希望者は夏休み前からハードな日が続きました。1学期末までの成績が校内選考や企業に送る調査書に影響するので、「今まででいちばん勉強を頑張った」と話す生徒も多くみられました。7月に入ると、求人票を携えて企業の方が次々と来校されましたが、コロナ明けで人手不足なのかここ数年では見られなかった求人数に我々教員も興奮を隠せませんでした。夏休み前の三者懇談で希望企業の絞り込みを進め、50名近い就職希望者たちの希望に沿って調整を重ねました。その間を縫って面接指導、就職試験対策課外に取り組むので、生徒たちは夏休みの半分近くは登校したのではないのでしょうか。8月下旬の校内選考を経ていよいよチャレンジする企業が決まると、履歴書作成が待っています。修正がきかないので一字一句、心を込めて書き進めるも、最後の最後で間違えて何枚も書き直した生徒もいます。面接練習を始めたころは全く話せなかった生徒も、9月に入るころは驚くほど大きな声で堂々と話せるようになります。こちらが「もう大丈夫」と言っても、何度も何度も職員室にきて「面接練習お願いします！」と面接ノートの記録が全て埋まるほど練習を重ねた生徒もいました。

「人生でいちばん緊張した」と生徒が口を揃える本番の就職試験が全国一斉に始まったのが9月中旬。高校生の就職試験は1社しか受けられないので正に一発勝負です。翌週から次々と企業から結果が送られてきましたがほとんどの生徒が一発内定をいただき、願いが叶わなかった生徒も全員2社目で内定を勝ち得ました。内定の一報を担任から知らされ歓喜の声をあげたり、泣きながら床にへたり込んだりする生徒もいました。その感動を

忘れず社会に出てからも精進してもらいたいと思います。

一方の進学希望者は受験の時期も方法も様々です。早い学校だと1学期に合格をもらう生徒もいますが、現時点でも「まだこれから」という生徒もいます。就職希望者が多く在籍する教養コースは一体感があるのですが、ウキウキする生徒とピリピリする生徒が混在する進学コースは温度差が出てしまい、担任はそこに頭を悩ませます。

本校は、いわゆる一般入試で受験する生徒はほとんどおりません。そこを踏まえて、この学年は指定校推薦のみならず総合型選抜も見据えて指導を続けてきました。1年生の段階から「入試に合格すること」以前に、「将来、何を目指して受験するのか」をイメージさせるために、新たな取り組みを試みました。SDGsなど世の中の新しい動きに目を向けて、レポートや研究発表に取り組んでもらいました。すると今まで関心のなかったことに新しい発見があり、未来の自分を想像できるようになってきます。するとそこから逆算して「そのためには〇〇を学べる学校に」と道筋をつけることができるようになります。さらにそこで調べたことは入試の面接や論文の下準備にもなります。これらのことを継続して取り組むことが受験対策・準備になるという流れです。

この取り組みの成果が結果にも表れ、多くの生徒が希望する学校に合格することができています。そして合格がゴールではなく、将来に具体的な目標をもって受験しているので、進学後も前向きに勉強に取り組んでくれることと思います。

「未来の自分を創造する3年間」を目標にスタートしたこの学年も、ホップ・ステップを経ていよいよジャンプの時を待つばかりです。204名全員が、明るい希望を胸に羽ばたいていくまで、しっかりと指導していこうと思っています。

修学旅行、そして…

9月13日から2泊3日で修学旅行を行いました。行先は、北海道の白老、ルスツ、小樽、札幌。様々なことがコロナ禍以前の状態に少しずつ戻ってきたとはいうものの、大人数での学校行事をあまり経験できずにきたこの世代の生徒たちにとっては、大人たちが思う以上の期待と不安に満ちた経験だったようです。修学旅行は、当日3日間だけで完結する学びではありません。様々なガイダンス

2学年主任 為永 夕

や事前学習を1年生のうちから始め、旅行先についての知識や教養を高めるとともに、クラスや班単位での活動を通して他者と協働・調整する力を身につける機会を重ねてきました。総じて旅行先での失敗やトラブルは(リカバー可能な範囲においては)時に有意義な教訓となるように、生徒たちにとっても、今回の旅行は当日に至るまでの様々な経験も含めて、今後に生きる学びとなってい

るものと思われます。

ここでは、そんな生徒たちの成長の一端をご紹介しますと思います。次に掲げるのは「修学旅行のしおり」に掲載した冒頭文です(一部要約)。

- 修学旅行は…学校生活の一部(授業の一環)であって、個人や家族などの私的な旅行とは目的や性格が異なるもの。「修学旅行」だからこそ得られる学びを大切に。
- 普段の生活圏では馴染みのない自然や文化に触れ…「常識」だと思っていたけど、そうじゃなかった!」「色々ある」って面白い!」そんな発見をもたらしてくれる出会いを。

こうしたメッセージに真っすぐに応えてくれた生徒たちのコメントが、事後アンケートにはいくつも見られました(以下「」内はアンケートの記述回答。一部要約)。「同じ日本でも、北海道は違う文化を歩いてきたというのがとてもよくわかった」「同じ日本に住んでいても、言語や生活が少し違うだけでとても新鮮なものに感じた」「普通は授業でしか学ばないことを、実際に自分の目を通して見ると全然違っていた」「新しいことを拒まず、ひたすらに体験して記憶に残して、後の経験にしていくことの大切さがわかった」等々。新しいものに会える喜びや“違う”ことを楽しむ多様性肯定感といった、本来生徒たちのなかにある感性が大いに刺激されたことが伺えます。

白老「ウボポイ」にて



また、友人関係や集団行動において気づきや手ごたえを得た生徒も少なくなかったようです。「クラスの仲が深まったと思う」「意見を尊重し合いながら友だちとの仲をより深めることができた」「今までに話したことがない子とも話す機会があったのでとても良かった。普段関わりない子でも修学旅行を通してたくさん話せると思った」/「団体で行動することの大変さを学んだ。いくら自分が気をつけていたとしても、誰か一人が流れを乱したらそれが白子高校生全体としてのイメージに繋がってしまう。これからの行事でも周りのことを考えながら行動したい」

「班長兼部屋長だったので責任感もあったし、新しい所ではしゃぎたい気持ちもあったけど、周りを考えて恥ずかしいふるまいをできたと思う」「日頃学校生活で学んでいることを、いかに思い出して行動できるかだと思った」等々。言葉として理解しているだけでなく具体的な体験を通して実感することの価値を、私たち自身が再認識させられるコメントの数々がありました。

札幌「場外市場」にて



そして、さらに嬉しい驚きをもたらしてくれる次のようなコメントもありました。「先生に言われて確認するだけじゃなく自分たちでしおりを確認するようにしていたお陰で、時間も意識でき遅刻することがなかったと思う。これからは先生に頼るだけでなく自分で周りを見るようにすることで、ミスが減らせると思った」「自由行動ではどこでお金を使おうかと考えたり、使いすぎないように考えたりしながら買い物することができた」「小樽散策で、その場しのぎじゃなくてももう少し計画を練っていけばもっとと有意義に過ごせたと思った。次に誰かと旅行に行くときは計画的に行こうと思った」等々。時間やお金を自己管理する、見通しを持って行動するということは、将来的にも欠かせないスキルです。そうした力を体得しつつある姿に頼もしさを感じます。

最後に、二つのコメントをご紹介します。「周りの人が自分たちのために色々考えてくれていて、すごいなと思った。自分も周りの人のために動く時が来たら頑張りたい」「この旅行に多くの方が関わってもらっているんだと実感した。飛行機の中で、自分の前の席にいた添乗員さんたちが皆すごく忙しそうで、自分たちが楽しんでいる中、裏で動いてくれてるんだなと感じた」という言葉です。一つの行事が開催できるまでにどれほどのプロセスがあったのか、表舞台を支えるためにどれほどの人々が関わってくれているのか。そういったことに思いを致せる力があることは、人としての魅力を高めるだけでなく、その人自身の人生を豊かにする秘訣のように思われます。そんな力を生徒たちが身に付けていってくれていることに心

強さと未来への希望を感じます。

2年生の2学期、修学旅行や文化祭といった大きな行事の数々が終わり、3学期にかけては企業・学校見学や進路ガイダンス、面接練習が本格的に始まってきています。いよいよ具体的な進路選択が目前に迫っています。

高校生活の中で培った力を一人ひとりが精一杯発揮できるよう、学校での指導に力を尽くして参ります。ご家庭からのご理解、ご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

生活創造科ニュース

コロナ以前の状態に戻りつつあるこの頃ですが、基本的な感染予防対策を行い、コンクールや行事への参加を実施した令和5年です。これまで堪え忍んで育ってきた3年生がやっと活躍できる場が広がってまいりました。家庭クラブの研究発表、実技審査のあるコンクール、愛宕地区子ども食堂等への協力、地元店舗とのコラボレー

ション企画など多岐にわたる活動に参加し、成果を上げることができました。

家庭科技術検定の実技試験審査は年明けとなっているため、報告は後日となりますが、生活創造科の2学期以降の主な取り組み、コンクールの結果を紹介します。

表彰

「三重県おさかな料理コンクール」 斬新なアイデアが評価され、入賞しました。

❖入賞「サニークレープ」3年 薮井 柚香❖



「三重県高校生スイーツコンクール」

❖デザイン賞「茶畑からのお届け物」
3年 平良 珠理衣グレース❖



❖ストーリー賞「グリーンマリン」3年 篠木 美輝❖



学科・家庭クラブ

- 9月 高校生活入門講座(ファッションショー・飾り切り実演)
- 10月 産業教育フェア参加(展示・即売など)
文化祭(マドレーヌ販売)
- 11月 県連家庭クラブ研究発表大会(津リージョンプラザにて開催、1年生全員参加)
高齢者お弁当サービス(江島地区・旭が丘地区)



✿お弁当サービス✿

食彩コース

7・9月 3年 陶芸講習会

9月 2・3年 各種コンクール応募

10月 3年 産業教育フェア(大徳屋長久さんコラボ菓子販売)



✿産業教育フェア「抹茶のパウンドケーキ」✿



✿産業教育フェア「おい茶クッキー」✿

服飾コース

9月 3年 ウォーキング講習会

2年 デザイン画講習会

10月 3年 ファッションショー(産業教育フェア・文化祭)

3年 イオンモール津南専門店とのコラボ(産業教育フェア)



✿産業教育フェア ファッションショー✿

3学期のおもな予定

3年生 テーブルマナー講習会(グリーンパーク鈴鹿)

2年生食彩コース 中国料理講習会

1年生 職業ガイダンス

3年生 卒業発表会(グリーンパーク鈴鹿)

2年生食彩コース テーブルマナー講習会(グリーンパーク鈴鹿)

2年生服飾コース ドレス見学・講習会

2年生服飾コース ブーケアレンジ講習会

クラブ活動 近況報告

野球部

【部員数】男子8名

【活動場所】グラウンド

【活動日・時間】平日 16時～19時 休日 1日練習試合

『夢叶うまで挑戦 ～未来を拓く～』

をチームスローガンとして、新チーム発足後は少ない人数ながら、すでに52試合をこなしました。途中いくつかの困難もありましたが、それらを乗り越え部員一人ひとりが大きくたくましく成長しています。

最近では、ランニングを中心とした持久力の強化と筋力アップのための体力づくりを行うとともに、野球ができる環境に感謝を込めて、グラウンド整備にも力を入れています。また、今年度も継続して野球以外の活動も経験させ、地域の役に立てる部員を育てたいと考えています。

毎年の目標ではありますが、これらの充実した活動で得たことを糧に、白子高校創立以来初となる甲子園出場を果たし、皆様に勇気と感動を届けたいと少人数ながら本気で取り組んでいます。今後もご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。



【公式戦の結果】

★第70回春季東海地区高等学校野球三重県大会

中地区予選

※1次予選

3月21日(火)●白子5－9 津

※2次予選

3月29日(水)○白子11－8名張

3月30日(木)○白子14－7津東

4月 1日(土)●白子0－10久居農林

◎第105回全国高等学校野球選手権三重大会

※1回戦

7月10日(月)

●白子1－9菰野

◆第73回秋季東海地区高等学校野球三重県大会

中地区予選

※1次予選

8月11日(日)○白子名張14－12 久居農林

8月16日(水)○白子名張 3－ 1 上 野

8月19日(土)●白子名張 3－ 5 鈴 鹿

※第3シード決定戦

8月20日(日)●白子名張 5－ 8近大高専

※第4シード決定戦・2次予選

8月23日(水)●白子名張 0－ 4津西

※3次予選

8月26日(土)●白子名張 2－ 5津

卓球部

【部員数】男子13名・女子12名

【活動場所】男子 体育館・女子 西飯卓球センター

【活動日・時間】平日～19時 休日～13時

☆第70回東海高校総体in袋井(6月)

男子ダブルス

北村悠貴(1－4)・大畑瑛祐(1－4) ベスト8

山野煌介(2－4)・林誠也(2－4) 出場

中野圭斗(3－3)・松尾尚紀(3－4) 出場

古田諷(3－4)・高橋陸(3－3) 出場

女子ダブルス

由井心菜(3－3)・竹原優梨(2－1) 出場

竹原優菜(3－4)・平岡凜花(1－3) 出場

男子シングルス

古田諷 ベスト16

北村悠貴 ベスト16

大畑瑛祐 ベスト16

中野圭斗 出場

松尾尚紀 出場

山野煌介 出場

女子シングルス

由井心菜 ベスト8

松尾和奏 出場

竹原優梨 出場

西村玲美 出場

土井華楓 出場

平岡凜花 出場

男子学校対抗

1回戦 白子3－0島田樟誠(静岡)

2回戦 白子3－0岡崎城西(愛知)

準決勝 白子3-1静岡学園(静岡)
決 勝 白子1-3愛工大名電(愛知)



女子学校対抗

1回戦 白子3-0東農実業(岐阜)
2回戦 白子0-3桜丘(愛知)

☆第78回国民体育大会三重県選考会(7月)

少年男子

北村悠貴 選考会免除
大畑瑛祐 2位
山野煌介 3位
林誠也 4位
古田諷 5位
松尾尚紀 6位

※北村、大畑が代表に選出

少年女子

由井心菜 選考会免除
竹原優梨 1位
伊藤杏莉(1-6) 4位
平岡凜花 6位
※由井、竹原が代表に選出

☆第75回中部日本選手権in富山(7月)

ジュニア男子

山野煌介 ベスト8
大畑瑛祐 ベスト16

ジュニア女子

竹原優梨 第3位



西村玲美 ベスト16

男子ダブルス

北村悠貴・大畑瑛祐 ベスト8

女子ダブルス

由井心菜・竹原優梨 ベスト16
西村玲美・笹村莉央(1-1) ベスト16

☆令和5年度全国高校総体in札幌(8月)

男子学校対抗

1回戦 白子3-1上宮(大阪)
2回戦 白子3-1東奥学園(青森)
3回戦 白子2-3出雲北稜(島根)



女子学校対抗

1回戦 白子3-2盛岡第二(岩手)
2回戦 白子3-2岩国商業(山口)
3回戦 白子1-3明德義塾(高知)

男子ダブルス

山野煌介・林誠也 2回戦進出
北村悠貴・大畑瑛祐 出場

女子ダブルス

由井心菜・竹原優梨 出場

男子シングルス

北村悠貴 第5位



古田諷 2回戦進出
山野煌介 2回戦進出
大畑瑛祐 2回戦進出

女子シングルス

由井心菜 3回戦進出



土井華楓 2回戦進出

竹原優梨 2回戦進出

☆三重県高校選手権(8月)

男子ダブルス

北村悠貴・大畑瑛祐 優勝

山野煌介・林誠也 準優勝

八木良祐(2-5)・中川博琉(1-6) 第3位

女子ダブルス

竹原優梨・西村玲美 優勝

平岡凜花・伊藤杏莉 準優勝

男子シングルス

北村悠貴 優勝

大畑瑛祐 準優勝

山野煌介 第3位

女子シングルス

竹原優梨 優勝

伊藤杏莉 準優勝

西村玲美 第3位

平岡凜花 第3位

☆第52回名古屋オープンin名古屋(9月)

男子ダブルス

北村悠貴・大畑瑛祐 ベスト16

ジュニア男子

北村悠貴 準優勝

山野煌介 第3位

大畑瑛祐 ベスト8

☆2024全日本選手権三重県予選(9・10月)

ジュニア男子

北村悠貴 予選免除

大畑瑛祐 1位

山野煌介 2位

林誠也 4位

ジュニア女子

伊藤杏莉 3位

※北村、大畑、山野、伊藤は全日本選手権へ

男子ダブルス

山野煌介・林誠也 3位

女子ダブルス

由井心菜・山脇ゆき(東洋大) 2位

竹原優梨・西村玲美 3位

※由井・山脇は全日本選手権へ

女子シングルス

由井心菜 3位

※由井は全日本選手権へ

☆第78回国民体育大会in鹿児島(10月)

由井心菜、竹原優梨が参加

少年女子

予選リーグ 三重県2-3大分県

三重県2-3兵庫県

三重県3-0福島県



☆日韓交流大会in済州島・奥州市(10月)

森雅幸(監督)と北村悠貴が日本代表で参加



☆第63回東海選手権in一宮(11月)

ジュニア男子

北村悠貴 優勝

山野煌介 ベスト16

大畑瑛祐 ベスト16

ジュニア女子

伊藤杏莉 ベスト8

竹原優梨 ベスト16

男子ダブルス

北村悠貴・大畑瑛祐 ベスト8

山野煌介・林誠也 ベスト16

女子ダブルス

竹原優梨・西村玲美 ベスト16

由井心菜・森本枝里(北伊勢上野信金) ベスト16

女子シングルス

由井心菜 第3位

☆三重県選手権(11月)

ジュニア男子

大畑瑛祐 優勝

山野煌介 準優勝

ジュニア女子

竹原優梨 第3位

西村玲美 第3位

女子シングルス

由井心菜 第3位

☆三重県高校新人大会(11月)

男子学校対抗

優勝(3年連続)

女子学校対抗

優勝(9年連続)



剣道部

【部員数】24名 (男子16名、女子8名)

【活動場所】白子高校武道場

【活動日・時間】平日16時～18時30分 休日9時～12時

本校剣道部は県内トップクラスの部員数を維持しており、中勢・北勢地区はもとより南勢・伊賀地区等、県内各地より通学しています。個々の競技レベルは様々ですが、白子高

校剣道部で「試合に勝ちたい」「剣道が強くなりたい」「進路を実現させたい」「自分を成長させたい」等の夢や目標を持って入部しており、中途退部者が無く、明るく部員同士の仲も良く、卒業生の大部分が剣道を続けていることが本校剣道部の特色です。

今年度4月には新入生11名を迎え、チーム一丸となり、特に3年生は高校生活最後の大会に向けて、日々の練習に励みました。また、東京遠征など県外の強豪校との練習試合も行い、競技力の向上を図りました。剣道の勝負は時の運もあり、特に男子は県総体で実力を発揮できませんでしたが、7月の玉竜旗大会で上位進出し有終の美を飾ることができました。この大会で3年生は一区切りとなりましたが、剣道部員としての自覚を持ち進路の実現に向けて、受験勉強や面接練習に取り組みました。進路が決まった後も毎日のように練習に参加し、下級生の指導もしてくれています。現在は1, 2年生を中心に県外の強豪校との遠征も行い、1月末の県高校新人大会に向けて取り組んでいる所です。冬場の寒さ厳しい中の練習を乗り越え、さらに逞しく成長していきたいです。



2023年の大会結果

※1/21～22三重県高等学校剣道新人大会

男子団体:準優勝

女子団体:5位

女子個人(別所玲奈):5位

- *2/19東海高等学校剣道選抜大会
男子団体:5位
女子団体:出場
- *4/23三重県高等学校剣道春季大会
男子団体:3位
女子団体:5位
- *5/26～28三重県高等学校総合体育大会
男子団体:5位
女子団体:5位
男子個人(船木大輔):5位
- *6/17～18東海高等学校総合体育大会
男子個人(船木大輔):出場
- *7/27～29玉竜旗高校剣道大会
男子団体:3回戦進出
- *8/27三重県高等学校剣道学年別大会
女子個人(大西梨央):5位
- *11/3三重県高等学校剣道秋季大会
男子団体:出場
女子団体:3位



女子バスケットボール部

【部員数】3年生1名、2年生3名、1年生6名 マネージャー
2年生1名、1年生1名

【活動場所】体育館

【活動時間】平日16:00～18:15(火曜日は休み)、土曜日
練習or練習試合

少ない人数ですがバスケット好きが集まって仲良く元気に頑張っています。バスケットボールを通じてプレイだけでなく、挨拶や周囲への気配りなど社会に出たときに活躍できる人を目指して活動しています。

【今年度の実績】

○総体予選

1回戦 白子31－65鈴鹿高専 4月23日

○選手権大会三重県予選会 9月9日

1回戦 白子32－81川越

○三重県U18バスケットボールリーグ

女子4部Aブロック 3位

○白子79－47桑名西

×白子44－62四日市西

○白子63－47セントヨゼフ

×白子42－68名張

○白子111－24宇治山田商業

男子バスケットボール部

【部員数】1年0名 2年6名 3年6名

【活動場所】体育館

【活動日・時間】火～金 16時～19時

土日 練習、練習試合

【活動状況】4月にある県総体の地区予選を突破し、県ベスト8を目標にチーム一丸となって頑張っています。応援よろしくお願いします。

○令和5年度第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会三重県予選会 ベスト16

サッカー部

【部員数】1年1名 2年7名 3年5名 計13名

【活動場所】グラウンド

【活動日・時間】火～金 16時～ 休日8時30分～

週末は公式戦、リーグ戦、練習試合

【活動状況】今年度、リーグ戦で勝利を掴むことができず、悔しい結果となりました。チーム、個人としてたくさんの課題がありますが、それぞれが成長し、今後の各大会でよい結果を残せるよう練習に励んでいます。また、学校や地域から応援されるチームになれるよう努力を続けていきますので応援よろしくお願いします。

☆全国高校サッカー選手権 三重大会

1回戦 白子VS近代高専 0－5

☆高円宮杯U18三重サッカーリーグ 3部
0勝3分10敗(14位／14チーム)

ハンドボール部

【部員数】男子 選手13名（3年生5名、2年生7名、1年生1名）
女子 選手6名（3年生5名、1年生1名）
【活動場所】本校グラウンド、AGF 鈴鹿体育館
【活動日・時間】平日16:00～18:00
週末や休日は、合同練習や練習試合を行っています。
【活動状況】ほとんどの生徒が高校からハンドボールを始めたということもあり、日々切磋琢磨しながら和気あいあいと部活動に励んでいます。

また、3年生は何度も困難にぶつかりながらも、皆で協力し練習に励んだ結果、この1年間で勝利できるようになりました。怪我や部員不足などもあり、すべてが順調に進んだわけではありませんでしたが、1人1人がハンドボールを愛し、明るく協力して取り組んでできました。

1・2年生はさらに人数が少なく、練習内容も限られていますが、このまま練習を積んでいき、周囲から応援されるチームを目指しています。

三重県高校総合体育大会

【女子ハンドボール部】

1回戦 白子 27—9 桑名
2回戦 白子 8—42 四日市商業

【男子ハンドボール部】

1回戦 白子 20—31 名張青峰

三重県高等学校新人ハンドボール選手権大会

【女子ハンドボール部】第5位

リーグ戦 1位通過
白子・海星・高専 23—12 津東
白子・海星・高専 18—13 青峰・川越・稻生
白子・海星・高専 19—17 上野
準々決勝 白子・海星・高専 22—30 四日市

【男子ハンドボール部】

リーグ戦 3位
白子 9—37 いなべ総合
白子 8—21 高田

全国高等学校ハンドボール選抜大会三重県予選

【女子ハンドボール部】

1回戦 白子・海星・高専 25—29 高田

男子テニス部

【部員数】1年5名 2年5名 計10名
【活動場所】本校テニスコート
【活動日・時間】月～金 16時～18時 土 9時～11時
【活動状況】全員が硬式テニス初心者ですが、熱心に継続

して活動している選手は着実に上達しています。毎回の活動でチームメイトと協力して、目標設定と振り返りを行い、試行錯誤しながら、自分の課題や目的を探っています。単に勝敗を競うだけでなく、コート整備やボール管理も欠かさず行うことで卒業後も活かせるスキルをバランスよく伸ばしています。

<県高校総体>

団体 1回戦 白子●0—3 伊勢

<県高校選手権大会>

団体 1回戦 白子●0—3 川越

<県高校新人大会>

団体 1回戦 白子●0—5 暁

女子テニス部

【部員数】1年5名 2年7名 計12名

【活動場所】本校テニスコート

【活動日・時間】月～金 16時～18時

【活動状況】体を動かす楽しみや仲間と共に活動する楽しみを感じながら、毎日の練習に励んでいます。先輩から受け継いだことを元にして、生徒自身で練習メニューを考え、出来ることの幅を広げようとしています。対話や表情、しぐさなどのコミュニケーションを大切にして活動することで、公平な雰囲気を作ろうとしています。

<県高校総体>

団体 1回戦 白子●0—3 津

<県高校選手権大会>

団体 1回戦 白子●0—3 津田

<県高校新人大会>

団体 1回戦 白子●0—5 セントヨゼフ

女子バレーボール部

【部員数】1年5名 2年5名 3年7名

【活動場所】体育館

【活動日・時間】平日16:00～19:00

週末や休日は、積極的に練習試合を行っています。

【活動状況】3年生は高校からバレーボールを始めた生徒が半数いて、経験不足もあり、なかなか結果を出すことができませんでした。こつこつ練習や対外試合を積み重ねた結果、この1年は、1回戦が突破できるようになりました。

怪我などもあり、順調なわけではありませんでしたが、どきよりも明るく楽しくバレーを表現してくれました。

1・2年生の新チームは経験者が多いので、今以上に意欲的に取り組み、必ず成績はついてくると思います。もう少し元気を出して、周りから応援していただけるようなチームにしていきたいと思っています。

春季大会

4月22日(土) 1回戦 白子 2-0 四日市南
県総体

5月26日(金) 1回戦 白子 2-0 四日市西
2回戦 白子 1-2 久居

高校選手権

11月4日(土) 1回戦 白子 2-0 鳥羽・津東・伊勢学園
2回戦 白子 0-2 津商業

陸上部

【部員数】1年5名 2年8名 3年生4名 計10名

【活動場所】本校グラウンド

【活動日・時間】月～金 16時～18時

(冬期 16時～17時)

【活動状況】

*三重県春季大会 5月6日 100m出場

*三重県総体 5月27日 100m出場

*三重県新人陸上大会 9月23日 100m出場

少人数で頑張っています。

ダンス部

【部員数】1年19名 2年6名 3年8名 計33名(男子3名
女子30名)

【活動場所】体育教官室前駐車場・ダンス室

【活動日・時間】火～金16時～18時 土9時～12時

【活動状況】

・9月の「すずかフェスティバル」では、猛暑の中、連日の練習の成果を披露しました。

・10月の文化祭では、各グループで踊った後に、全員でのバブリーダンスのフィナーレで文化祭のステージ部門のラストを盛り上げました。

・12月は高体連主催のダンスフェスティバルに参加し、総合文化センター大ホールという立派な舞台で、全員で発表することができました。今年はコロナ禍以降、初の観客入りのダンスフェスティバルとなり、大盛況でした。

美術部

【部員数】8名

【活動場所】美術室・工作室

【活動日・時間】平日15:30～17:00

【活動状況】今年度も新入生が2名入部してくれました。また、2、3年生でも途中入部があり、皆で活動する場も少しは持つことができました。10月の文化祭では、いつもの展示壁面をリメイクシートで覆う作業を協力して行いました。その時

の展示作品は、11月の「みえ高文祭」にも出品しました。今年度は「近畿総合文化祭」が同時期に開催されていたため、その開会式に観覧者として参加できたこともよい経験になったと思います。他府県も含む様々な高校の文化部が活発に活動する様子に、部員たちも心からの拍手を送っていました。



高文祭での展示作品

写真部

【部員数】1年:8名 2年:6名 計14名

【活動場所】1F階段下部屋

【活動日・時間】不定期(行事に合わせて活動)

クラスマッチ・高校生活入門講座・体育祭・修学旅行・文化祭・ゴミバスターズの撮影及び展示。

軽音楽部

【部員数】73名

【活動場所】軽音楽部室

【活動時間】平日 16:00～17:50 土曜 9:00～12:00

【活動報告】73名の大多帯です。部長と各パートのリーダー達が中心になって、自分たちで活動内容を決め、目標を持って日々技術の向上を目指しています。文化祭での演奏は印象に残っていると思います。コンテストやフェスにも参加しています。

6月 デビューライブ

8月 サマーライブ

9月 三重テレビの音楽番組に出演

9月10日 Yokkaichi Teen's Music Festival 出場

Best Performance 賞

10月 文化祭

12月 ウィンターライブ

3月 卒業ライブ 自主企画ライブ



合唱部

【部員数】男子1名、女子6名

【活動場所】特別棟4階商業準備室

【活動日・時間】週2回(火曜日、金曜日) 16:00～17:00

6月 三重県合唱祭

「すずめ feat. 十明」

10月 白子高校文化祭演奏曲

「すずめ feat. 十明」

11月 近畿高等学校総合文化祭

総合開会式及び合唱部門

「出逢い」「風花」「正解」「虹」



外部講師の清水先生をお招きし、週に2回の練習を基本にして、行事先は可能な限り練習しています。発声練習からはじまって、それぞれのパートに分かれて練習し、その後は全員で合唱します。リズムを合わせて正しい音程で歌うこと、美しい響きを楽しむこと。日々努力の積み重ねです。今年度は、近畿高等学校総合文化祭に出演し、合同演奏をさ

せてもらいました。合同練習では、暁高校さんの発声練習を教えてもらい声の合わせ方を練習しました。たくさんの人数での合唱は、普段と違い響きや力強さなどを感じることができ、本番での一体感はとても素晴らしい経験になりました。



ボランティア部

【部員数】30名

【活動場所】校内:部室周辺 校外:イベント会場

【活動日・時間】放課後とイベントがある土日

【活動状況】今年度は地域のイベントも多く開催されボランティアの依頼も増えたことから、さまざまな活動に参加しました。また、「気づき、考え、実行する」という青少年赤十字の態度目標を掲げ、自分たちで海岸清掃を企画したり、イベントにむけてアイデアを出し合ったりしながら、よりよい活動となるよう協力して取り組みを進めました。文化祭ではチャリティージュース販売と募金活動を行い、8,323円を「イスラエル・ガザ人道危機救援金」として日本赤十字社に寄付しました。本校部員は、県のJRCリーダーを務めたり、アジア太平洋地域の高校生が集う研修会に参加したりする等、積極的に活動し学びを深めています。

2023年度の活動実績:JRC連絡協議会、JRCリーダーシップ・トレーニングセンター、児童センター見守りボランティア、外国につながる児童の宿題支援教室、「風の会」ボランティア、献血啓発活動、スポGOMI甲子園、しろこ夏まつり、青少年赤十字国際交流集会、青少年赤十字のつどい他

新聞部

【部員数】3年 5名 来年度入学生に期待します。

【活動場所】放送室

【活動日・時間】火・金曜日

校内行事の取材を中心に記事にしています。

料理部

【部員数】1年8名 2年8名 3年8名 計24名

【活動場所】第2調理室

【活動時間】月1回 ・ 16時～18時

【活動状況】部員で話し合っ好きなメニューを決め、放課後に2時間程度、簡単な料理やお菓子を作っています。料理を通して人との関わり(チームワーク)や創作意欲等身につけることができます。学年の枠を超えて、和気あいあいと活動しています。文化祭では、スノーボールクッキーを作って販売し、大好評でした。

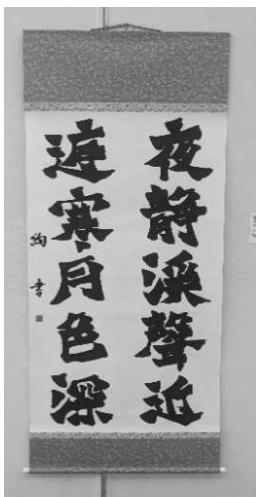
書道部

【部員数】1年6名 2年4名 3年7名

【活動場所】書道室

【活動日・時間】平日 放課後1時間程度

主に書道展に出品するために作品制作をしています。自分で書きたい古典と書体を選び、作品に仕上げるために日々研鑽を積んでいます。今年度は近畿高等学校総合文化祭三重大会の実行委員としても参加しました。



※主な活動

6月 実技講習会 参加

8月 三重県高校書道部合宿 参加

10月 文化祭でパフォーマンス披露

11月 近畿高等学校総合文化祭 出品 実行委員

1月 書道部門生徒教員展 出品予定

他 書の甲子園など 多数出品

着付け部

【部員数】1年5名 2年4名 3年9名 計18名

【活動場所】作法室

【活動日・時間】水・金曜日 16:00～17:00

着物等の着付けに取り組んでいる部活です。先輩が後輩に着物の自装ができるように指導しています。今年の文化祭では、浴衣・着物・袴のファッションショーを行いました。文化祭での発表を目標に、日々こつこつと着付けの練習に励み、素敵な着物の着こなしができるように努力しています。

手芸部

【部員数】12名

【活動場所】第2被服室

【活動時間】火曜日放課後

【活動状況】ぬいぐるみ・マスコット・キーホルダー・アクセサリ・巾着・刺繍作品など一人一人が好きな作品づくりに取り組みました。出来上がった作品は、10月の文化祭で展示発表しました。



茶道部

【部員数】11名

【活動場所】特別棟1階 作法室

【活動日・時間】月曜日・木曜日 15:30～17:30

【活動状況】本校の茶道部は「表千家」です。月曜日・木曜日に活動しており、毎週木曜日には指導者の先生のもと、礼儀作法やおもてなしの心を学んでいます。

今年度は、第43回近畿高等学校総合文化祭三重大会の茶道部門に参加し、夏休みから運営委員としてお茶会や楊枝入れ作りの研修を重ねてきました。本大会では、三重県代表で実践発表をして、奨励賞を受賞しました。秋には文化祭において「お茶会」とお客様ご自身に点ていただく「体験茶会」を開催することができました。どちらも普段のお稽古の成果を発揮し、気持ちのいいおもてなしを披露することができました。これからも日々の練習に励み、和気藹々とした雰囲気のもと頑張っていきたいと思っています。

吹奏楽部

【部員数】65名(1年24名 2年28名 3年13名)

【活動場所】文化棟・特別棟

1年間のコンクール、コンテスト結果(1月分まで)

中部日本吹奏楽コンクール 三重県大会

小編成の部 金賞 県代表

中部日本吹奏楽コンクール 本大会

小編成の部 金賞

三重県吹奏楽コンクール S編成の部 スーパーサウンド賞

三重県吹奏楽コンクール A編成の部 金賞 県代表

東海吹奏楽コンクール A編成の部 銀賞

三重県マーチングコンテスト 金賞 優勝 山田杯 県代表

東海マーチングコンテスト 金賞

日本管楽合奏コンテスト 全国大会 S部門 最優秀賞

三重県アンサンブルコンテスト

木弦打8重奏 金賞 朝日賞 県代表

金管8重奏 金賞 県代表

クラリネット8重奏 金賞